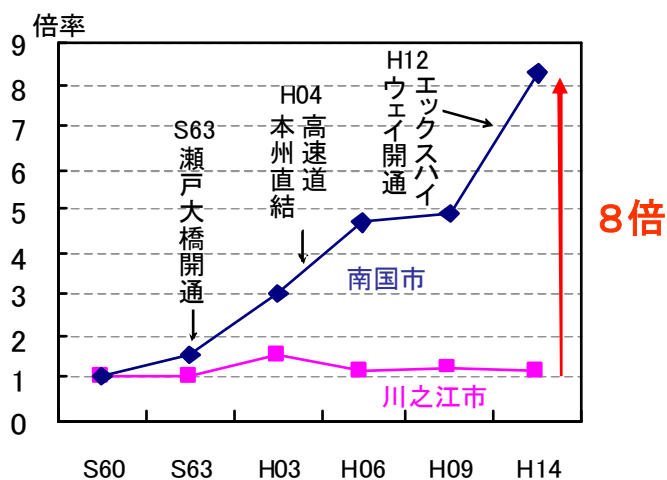


社会資本整備の遅れた地域での限界効用は大きい

限界効用：財(モノ、およびサービス)を1単位追加して消費することによる効用(財から得られるメリット)の増加分

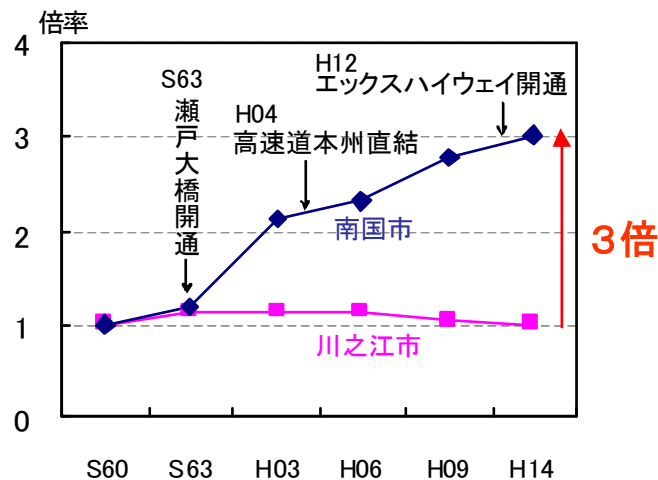
■卸売業販売額の伸び率の推移

(昭和60年を1.0として算出)



■卸売業従業者数の伸び率の推移

(昭和60年を1.0として算出)



<出典: 商業統計>

南国市では高速道路の開通により、**卸売業の販売額と従業者数が増加**

地域の産業振興に繋がる高速道路！

② 広域観光の実現

高知県

四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏

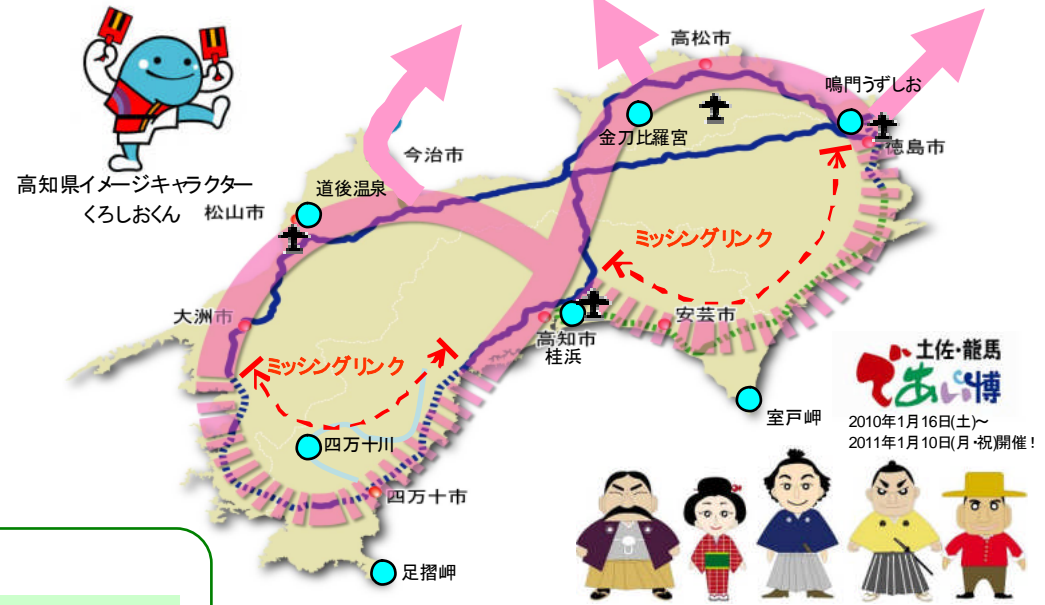
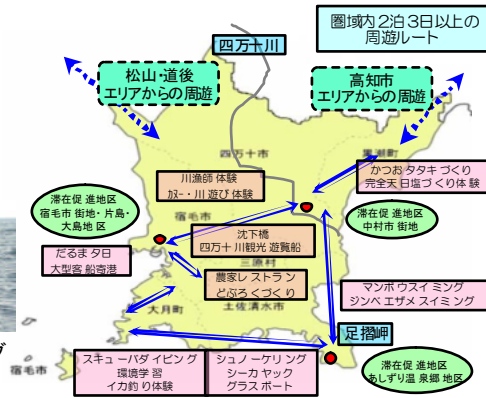
平成21年4月に国土交通省は観光圏整備法に基づき、「**四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏**」を認定。圏域内の観光地が連携をして、2泊3日以上での滞在型観光の促進を狙う。



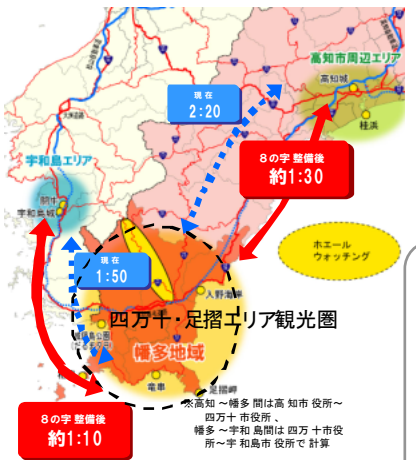
柏島(大月町)



ホエルウオッチング(黒潮町)



魅力溢れる西部地域の観光ネットワークを構築



足摺岬

四万十川

- 幡多地域には四万十川や足摺岬、ホエルウオッチングなど、魅力溢れる観光地が多数存在
- 8の字ネットワークの整備により、高知市や宇和島方面への時間が大幅に短縮し、**相互間の広域観光ネットワークの構築が可能に!**

■ 日本一遠い場所と言われる幡多地域

- 東京から四国最南端の土佐清水市までの所要時間 **約4時間30分** (約810km) (飛行機で1時間20分+車で3時間10分)

行きたくても、なかなか行けない場所!

※ 羽田～北海道旭山動物園(約1,110km) 約2時間20分(飛行機で1時間40分+車で40分)
 羽田～沖縄県名護市(約1,660km) 約4時間(飛行機で2時間30分+車で1時間30分)

- 8の字ネットワークの整備により、所要時間が **約3時間30分**で移動可能に!(約1時間の短縮)

交流人口の増加、地域振興に大きな可能性

■ 地域の声

- 県外のお客様から「日帰り旅行ができない」との声がある。集客力アップにつながるため、高速道路の延伸には非常に期待を寄せている。(四万十町在住 男性)
- 地元資源を生かした観光に取り組んでいるが、交通アクセスが悪く、広域で観光客を呼び込むことも難しい。東京から遠く離れ、県庁所在地から3時間もかかる遠く町は「一生に一度しか来られない場所」と都会の友人に言われた。私たちの活力が残っている間に、高速道路が通ることを願っている。(大月町在住 女性)

高知市方面や宇和島方面と連携した広域観光ネットワークが可能に!

多くの観光資源を有する四国東南部の活性化



- 四国東南部には、サーフィンで知られる生見海岸やプロ野球阪神タイガースキャンプ地やジオパークなど**多くの観光資源を有している**
- 8の字ネットワークの整備により、アクセスが向上し、滞在時間が確保され、**関西圏をはじめとする広域観光交流の活性化を図る**

■ 地域の声

- 日本八景の一つで、全国に知られた室戸岬や海洋深層水など地域資源は多い。道路が整備されると、交流は増加し、活性化に寄与するところは計りれない。(室戸市在住 男性)



関西圏との広域観光交流が活性化!

③ 地域の産業活性化

高知県

●新鮮な園芸産品・海産物等の輸送能力が向上

■宿毛市を基点にした6時間圏域

現在の
6時間圏域



8の字整備後
の6時間圏域



- ・土佐清水の鯖はブランドとして有名だが、鮮度落ちが早いいため活魚輸送は**6時間が限界であり、現在は岡山や姫路までが限度**
- ・8の字ネットワークの整備により、一大消費地である**阪神地域や広島、さらに山陰方面までの輸送が可能に！**



ゴマを散らしたような斑点が特徴的な清水さば(土佐清水市)



赤色に輝く高級魚キンメダイ(室戸市)



日本一の生産量を誇るナス(安芸市)



国内の7割の収穫量を占めるみょうが(須崎市)



フルーツに負けない甘さの高糖度トマト(高知市)



日本一の出荷量を誇るゆず(北川村)

■地域の声

- ・高速道路が完成すれば、運送時間の短縮や出発時間の延長が計られ、新鮮な水産物が消費地に搬送できるようになり、魚価の向上に繋がる。(土佐清水市在住 男性)
- ・高知県の農産物や食材に、全国の人が興味をもっている、今の道路整備状況では、搬送時間等、流通に支障を来しています。1日でも早い高速道路整備を！(四万十市在住 女性)

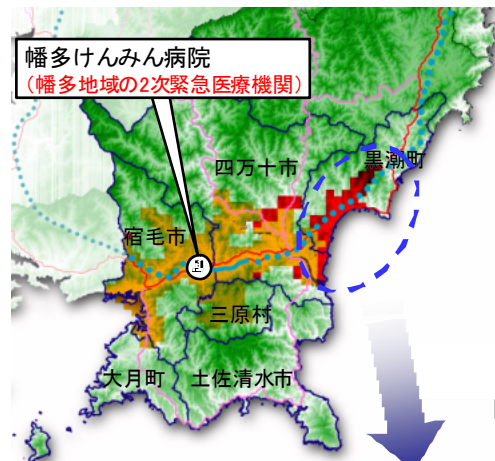
大都市圏への販路が拡大！

④ 「命の格差」解消

高知県

●西部地域の救命率向上

■幡多けんみん病院への到達圏域が拡大



幡多地域の高度医療は「幡多けんみん病院」に依存！

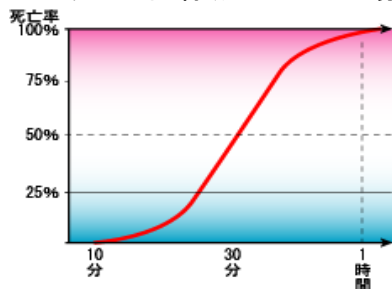


■冠水により、立ち往生する救急車 (国道56号 宿毛市)

■ 現況 (H18末)
■ 8の字ネットワーク供用時

「8の字ネットワーク」の整備により、30分カバー圏域人口が約1万人増加

■カーラーの曲線(大量出血の場合)



30分で医療施設へ到達できると、大量出血の場合では、約50%の人の命を救うことが可能

■地域の声



【中山間地域の消防長】

- 救急車は、「運び屋」から「医療救急」に変わっている。
- 狭隘でカーブが多い道路だけが30年間変わっていない。



患者を助けたくても助けられない

■すれ違いができない救急車 県道中平橋原線(橋原町)

●東部地域の救命率向上

■高知医療センターへの到達圏域が拡大 (3次緊急医療機関)

- ・高知医療センターへの搬送件数は年間約1,400件(3.8件/日) (平成20年度)
- ・室戸市消防本部の救急車空白時間は98時間33分 (平成20年)



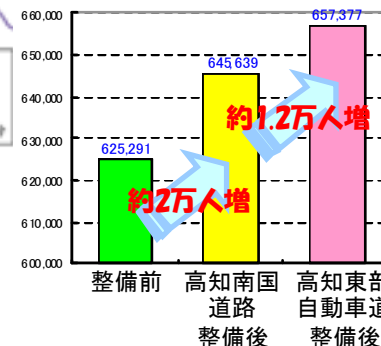
■渋滞のなか対向車線を走る救急車(国道55号安芸市)



高知南国道路の整備により、救急医療60分圏域が拡大、圏域人口が2万人増加

南国安芸道路の開通により、圏域人口が1.2万人増加

高知東部自動車道の整備により、60分カバー圏域人口が約3.2万人増加



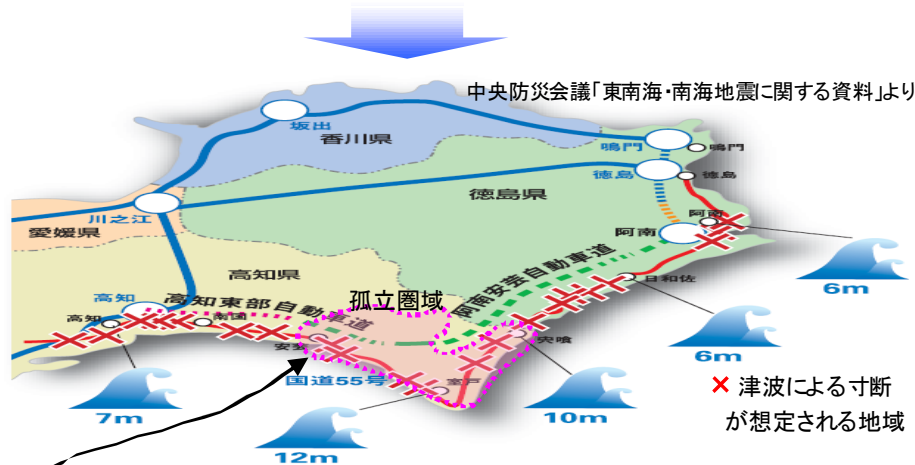
■60分カバー圏域人口の推移

⑤ 災害から国民を守る

高知県

●安全・安心のために代替機能の確保が必要

■脆弱で1本しかない海岸線の幹線道路では通行止めが多発し、圏域全体が孤立！



■通行止めによる孤立の解消

・1本しかない幹線道路が寸断され、集落だけでなく圏域全体が孤立する！



安芸市大山岬での土砂崩壊

【看護師の声】

- ・HI0の災害では、通行止めが7時間に及び、透析患者が土砂をさけながら20分かけて歩いた。
- ・きちんとした医療が受けられる丈夫な道の必要性を痛感した。

■土砂崩壊で通行止となった国道55号 (HI05)



■台風による冠水 (国道55号 安芸市)



■越波による被災状況 (国道55号 奈半利町)



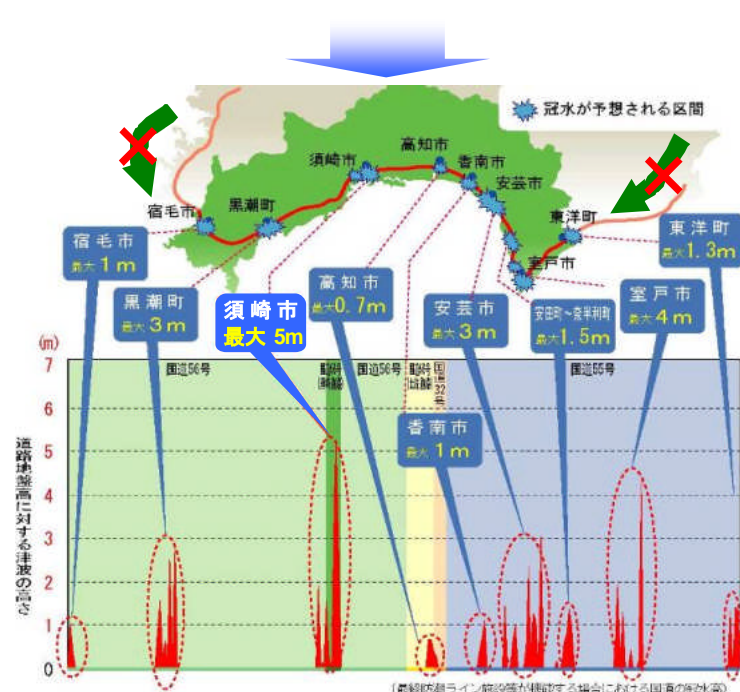
■台風の高波による越波 (国道55号 室戸市)



■豪雨による山手崩壊 (国道55号 東洋町)

日常の安全・安心を確保するため、信頼性の高い道路が必要！

■津波により各所で道路が寸断され、道路のネットワーク機能が果たせない！



- ・南海地震の発生確率は今後30年以内で50～60%
- ・高知県の被害想定は四国ワースト1位

緊急輸送路としての機能を確保するためネットワーク化が必要！

■地域の声

- ・ 東部地域は幹線道が1本しかない状態で、台風時には通行規制を余儀なくされる。災害に強い改良を進めていくことが地域貢献につながる。
(マスコミ関係者)
- ・ 台風、地震、雨などの場合、道路が1本しかないのは困る。特に東部については国道55号以外に道がない。
(高知商工会議所)